

第1回「拡大医療改革委員会」兼「産婦人科医療改革公開フォーラム」

日時：2010年1月24日（日曜）午後1時より4時まで

場所：弘済会館：東京都千代田区麴町5-1，電話(03)5276-0333

JR四ツ谷駅 または 地下鉄有楽町線麴町駅下車 徒歩5分

会場案内図は <http://www.kousaikai.or.jp/hall/> をご覧ください

主催：社団法人日本産科婦人科学会・厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究事業）「地域における周産期医療システムの充実と医療資源の適正配置に関する研究」（主任研究者：岡村州博）分担研究「周産期救急医療体制と分娩環境の安定的確保」分担研究者：海野信也

テーマ：「産婦人科医療改革グランドデザイン2010にむけて」

議事次第：

司会： 斎藤 滋（富山大学医学部・日本産科婦人科学会周産期委員会委員長）

澤倫太郎（日本医科大学・日本産科婦人科学会副幹事長）

【第一部（午後1時開始予定）】

挨拶：

吉村泰典（慶應義塾大学医学部・日本産科婦人科学会理事長）

宮寄雅則（厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課課長）

基調講演：

中井章人（日本医科大学・日本産婦人科医会勤務医部会）

「産婦人科医師の就労状況と未来予想図」

海野信也（北里大学医学部・日本産科婦人科学会医療改革委員会）

「産婦人科医療改革グランドデザイン2010 骨子案について」

【第二部（午後2時開始予定）】

各地域からの報告：

米原利栄（釧路赤十字病院）

「北海道東部地域における産科医療危機への取組」

鮫島 浩（宮崎大学医学部）

「Ecology model との整合性からみた宮崎県独自の周産期医療体制」

荻田和秀（市立泉佐野病院泉州広域周産期センター）

「地域周産期医療施設の集約による安全性の向上」

上妻志郎（東京大学医学部）

「産科医と助産師の役割に関する基本的な考え方」

久保隆彦（国立成育医療センター）

「周産期におけるチーム医療の取り組み」

総合討論（午後4時までの予定）：

- 1) 本拡大委員会は、一般会委員に開放した形式で行うとともに、公開フォーラムとして、報道関係者ならびに一般の方の傍聴および討論への参加を歓迎します。
- 2) 本拡大委員会の記録は、動画形式で岡村班海野チームウェブサイトに掲載予定です。
- 3) 当日ご出席をご希望の方は事前に下記までご連絡をお願いいたします。

社団法人 日本産科婦人科学会 事務局宛

E-mail : nissanfu@jsog.or.jp

FAX 03-5842-5470

以上